CHIYODA CITY
広報 千代田
No.1309
平成23年（2011年） 8/5
（毎月5日・20日に発行）
代表電話 ☎3264-2111
発行／千代田区　編集／政策経営部広報広聴課　〒102-8688 千代田区九段南1-2-1　URL http://www.city.chiyoda.lg.jp

8月27日(土)・28日(日)
アキバ グリーン フェスティバル 2011
5面

食中毒が起こりやすい夏
食品衛生・体調に気をつけて

8月は食品衛生月間です。高温多湿の夏は、細菌の増殖が活発になり、食中毒が起こりやすい時期です。

また、過度の暑さで体力を消耗すると、体調を崩し、食中毒にかかりやすくなります。特に今年は節電対策の影響で、室温が高くなることも考えられます。

食品の衛生管理や体調管理に十分気をつけましょう。

問合せ 生活衛生課食品衛生主査
麹町地区 ☎5211-8168
神田地区 ☎5211-8169

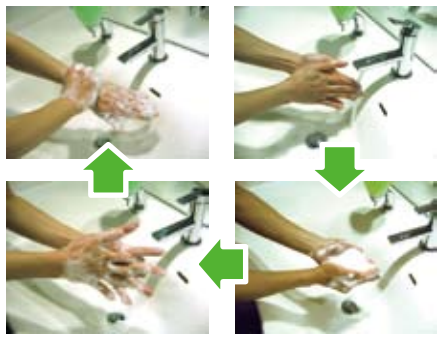
食中毒予防の三原則

①細菌を付けない

■手洗いの徹底
調理前やトイレの後、肉・魚等を触った後には、石けんでしっかり手を洗って、ペーパータオル等で拭きましょう。

■調理器具を清潔に保つ
生の肉や魚を調理したまな板・包丁を洗浄せずに、野菜等を切ると、肉や魚の菌が付着します。まな板・包丁は、洗剤で洗浄し、熱湯や塩素系漂白剤で消毒しましょう。
布巾は洗濯後に、熱湯や漂白剤で消毒・乾燥させると、清潔に保てます。

※細菌やウイルスは私たちの周りの至るところに存在しています。特に、上イラストの赤い点に付着している可能性が高いので、気をつけましょう。
出典：政府広報オンライン（http://www.gov-online.go.jp）



▶指輪・時計などをはずし、石けんをしっかり泡立て、指の間・指先・爪の間・手首まで念入りに洗いましょう。

②細菌を増やさない

■食材の適切な冷凍・冷蔵
冷蔵庫は10℃、刺身などは4℃以下、冷凍庫はマイナス15℃以下を保ち、扉の開閉を減らして7割収納を心がけましょう。

■調理後も油断しない
調理した食品はなるべく早く食べましょう。すぐに食べない場合は、手早く冷まし、冷蔵庫に保管しましょう。

③細菌を殺す

■しっかり加熱する
火を通す食品は、中心部までしっかり加熱しましょう。腸管出血性大腸菌は、75℃以上・1分以上の加熱で死滅します。大きな鍋で調理するときは、よくかき混ぜてください。

▲中心の肉の色が変わるまで十分に加熱しましょう。

生肉や生レバーは特に注意

生肉や生レバーには、少量でも食中毒を引き起こす細菌が付着しています。特に生レバーは、表面だけではなく、内部まで細菌に汚染されていることもあります。これらを生で食べることは大変危険です。特に子どもや高齢者は重症化しやすく、死亡例もあります。肉やレバーを生で食べることは避けましょう。

体調管理にも注意を

食品の取扱いに加えて、体調管理にも気をつけましょう。栄養バランスのよい食事をとり、規則正しい生活習慣と十分な休養を取ることで、食中毒に対する抵抗力を高めることも重要です。

生や加熱不足の肉を原因とする食中毒細菌

菌名	カンピロバクター	腸管出血性大腸菌（O157、O111など）
特徴	・牛・鶏・豚の腸管内に生息 ・少量の菌で発症	・牛の腸管内に生息 ・少量の菌で発症
主な原因食品	・鶏わさ、鶏刺し、牛レバ刺しなどの生肉料理 ・加熱不足の焼き鳥・焼肉等	・牛レバ刺し、牛ユッケなどの生肉料理 ・加熱不足の焼肉等
	生肉に触れた手指や器具によって、汚染された食品	
症状	下痢、腹痛、発熱（平均38℃） ※食中毒の後に、ギランバレー症候群を発症し、手足のまひや呼吸困難を起こすことがある。	激しい腹痛、下痢（血便を含む） ※溶血性尿毒症症候群（HUS）を併発し、腎機能障害や意識障害に至ることがある。
潜伏期間	2～7日（平均2～3日）	1～14日（平均3～5日）

9月1日(木) 防災講演会

■「東日本大震災を踏まえて ～首都圏の皆様が学ぶべき教訓と今後の防災対策のあり方～」
区は、区民や事業所の皆さんが防災対策を進めていくための講演会を開催します。また、講演会の前に、防災意識が高く、他の模範となる団体を防災貢献者として表彰し、その取組みを紹介します。

とき 9月1日(木)13時30分～15時（13時開場）
会場 日比谷公会堂（日比谷公園1－3）
定員 1千名（申込順）
講師 目黒公郎さん（東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター長）
申込み 8月23日(火)までにファクシミリまたはEメール（4面参照）で防災課昼間区民対策主査（☎5211－4343 FAX3264－1673 bousai@city.chiyoda.lg.jp）へ。
※申込方法等詳しくは、情報コーナー（区役所2階）、防災課（区役所4階）、出張所で配布のチラシまたは防災課のホームページ（http://www.bousai.city.chiyoda.lg.jp/disaster）をご覧ください。

▲東日本大震災による被害状況（岩手県大槌町）

区民世論調査を実施

区民の皆さんの生活実態や意識・意向を区政に反映させるため「区民世論調査」を実施します。

調査対象者には、8月中旬に調査票を郵送します。あて名に記載されている本人が回答し、同封の返信用封筒で調査票を返送してください。皆さんのご協力をお願いします。

調査対象 20歳以上の区内在住者2千名（無作為抽出）
問合せ 広報広聴課 ☎5211－4174

☆次号は8月20日(土)に発行します。☆

8月20日㈯ 平和使節団報告会

今年も7月下旬から8月上旬にかけて、千代田区平和使節団が沖縄・広島・長崎を訪問しています。

その使節団の団員が、現地で自らが体験したことなどを伝える報告会を開催します。平和使節団の活動に興味のある方や来年この事業に応募したいと考えている方など、気軽にご参加できます。

とき　8月20日㈯14時～16時

平和への祈りを込めて黙とうを

今年で終戦から66年が経ちます。現在の平和は、先の大戦での多大な犠牲の上に成り立っています。原爆による死没者と戦争の犠牲者のご冥福を祈り、世界の恒久平和の実現を祈念して、家庭・職場・地域で1分間の黙とうを捧げましょう。

広島市原爆の日　8月6日㈯8時15分（広島への原爆投下時間）

長崎市原爆の日　8月9日㈭11時2分（長崎への原爆投下時間）

終戦の日　8月15日㈪正午

問合せ　国際平和・男女平等人権課
☎5211－4165

会場　区役所4階会議室

問合せ　国際平和・男女平等人権課
☎5211－4165

消費者だより

地震保険のしくみ ～被災者の生活安定のために～

地震保険は、政府と損害保険会社が共同で運営している公共性の高い保険です。実際の損害額を保障する他の損害保険とは異なり、地震で被災した方の生活ができるだけ早く安定するよう、その手助けを目的としています。

Q　地震保険はなぜ必要か

A　火災保険では、地震による火災は補償されません。従って、地震に備えるには地震保険が必要です。

Q　どんな時に支払われるのか

A　地震による火災で家が焼失、地震で家が倒壊した場合に支払われます。また津波により家が流された場合や、噴火による家の埋没も対象です。

ただし、契約できるのは居住用に使用される建物および併用住宅と家財で、専用店舗・事務所の建物や自家用車等は対象になりません。

Q　保険金で建物を元通りに建て直すことはできるか

A　できません。地震保険の保険金額は、火災保険金額に対して30％～50％の範囲で決まります。建物価額1千万円なら、保険金が支払われる上限は300万円から500万円です。保険金は、あくまで当面の借家を確保するなど、生活再建のための資金です。

損害の程度が「一部損」の場合は、保険金額の5％程度なので、見舞金程度と考えた方が良いでしょう。補償内容の上限額もあり、建物5千万円、家財1千万円となっています。

Q　損害の程度はどのように決められるのか

A　「全損」「半損」「一部損」の3つに区分され、保険金額の一定割合が支払われます。

「一部損」に至らないときは、保険金は支払われません。

損害認定が3区分なので、今回の東日本大震災のように大規模な地震災害の場合でも、航空写真や衛星写真等から短期間に大量の損害調査が可能です。建物の軸組・基礎・屋根・外壁などの主要構造部の被害程度に着目した簡便な方法で、早期に保険金の支払いができるようになっています。

Q　地震保険に加入したいけれど、どうすればいいか

A　火災保険に加入中なら、火災保険に追加して契約するのが一般的です。火災保険とセットにすることで、保険会社側の経費を抑え、可能な限り低い保険料で提供できます。

※共済組合やミニ保険会社では、独自商品や単独で契約できる商品も有ります。

Q　地震保険の保険料はどのくらいですか

A　契約者が支払う保険料はどの保険会社で契約しても同じで、建物の所在地の都道府県と構造により異なります。

例えば、東京都で保険金1百万円の補償をつける場合の年間保険料は、木造住宅で3千130円、鉄骨やコンクリート建物は1千690円です（昨年8月現在）。また、建物の免震・耐震性能や契約年数に応じた割引制度もあります。

税制面では、契約者が払い込んだ地震保険料がその年の所得から控除されるなど、近年優遇措置も充実しつつあります。

詳しくは、社団法人日本損害保険協会そんがいほけん相談室（☎0120－107808 URL http://www.sonpo.or.jp）へ。

問合せ　消費生活センター
☎5211－4314

© 千代田区 2010
消費生活センター
イメージキャラクター
「キッくん」

区立施設の指定管理者を募集

区は、平成17年度から指定管理者制度を導入し、一部の区立施設の管理・運営を「指定管理者」に行わせています。この制度は、施設の管理・運営に民間のノウハウを取り入れることで、区民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的とするものです。

今回、来年3月末に指定期間が満了する施設について、来年4月から施設を管理・運営する指定管理者を募集します。対象施設と募集の概要は左図表のとおりです。現地説明会の日程や応募方法など詳しくは、区のホームページ（http://www.city.chiyoda.lgjp）の募集要項をご覧いただくか、お問い合わせください。

▼指定管理者を募集する施設の一覧

施設名・所在地		施設の機能	指定期間	募集期間	問合せ
九段生涯学習館 九段南1－5－10	※2施設で、1者の指定管理者を選定します。	生涯学習、生涯スポーツ施設	平成24年4月～平成29年3月（5年間）	8月22日㈪～9月5日㈪	文化スポーツ課管理係 ☎5211－3632
スポーツセンター 内神田2－1－8					
千代田図書館 九段南1－2－1区役所9・10階	※4施設で、1者の指定管理者を選定します。	図書館			図書・文化資源担当課図書館主査 ☎5211－3629
四番町図書館 四番町1					
神田まちかど図書館 神田司町2－16					
昌平まちかど図書館 外神田3－4－7					

広告

源泉に浸る贅沢
～上質な温泉と手作りの美味～

源泉のお宿
湯河原 千代田荘
Chiyoda sou

千代田区民様のご料金
区民補助のご利用で

大人お一人様 1泊2食付(税込)

	1部屋当たりの利用者数		
	2人	3人	4人
64歳以下	6,650円	5,650円	5,050円
65歳以上	6,150円	5,150円	4,550円

※土曜日、特別日等は料金が異なります

湯河原千代田荘　検索

TEL 0465-63-1153

◆ご予約：千代田区民様は3ヶ月前から承ります

〒259-0314 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上637　受付時間 10:30～18:00

テレビが地デジに完全移行
視聴できない方は相談を

7月24日にテレビが地上デジタル放送（地デジ）に完全移行しました。自宅のテレビが見られなくなった方は、まずはお問い合わせください。また、区役所1階ロビーに地デジ臨時相談コーナーが開設されています。地デジに関する質問や相談ができますので、ご利用ください。

開設期間　8月26日㈮まで（平日9時～17時）

問合せ　デジサポ東京中央（総務省東京都中央テレビ受診者支援センター）
☎6743－0500
※受付時間＝9時～21時（土・日・祝日は18時まで）

高齢者等地上波デジタル放送移行支援事業

区は、高齢者世帯や障害者世帯の方々を対象に、デジタル放送受信に必要なアンテナなどの受信設備に係る、改修工事費用の一部を助成しています。

対象
①高齢者（65歳以上）のみの世帯
②要介護3以上の高齢者（65歳以上）がいる世帯
③身体障害者手帳・愛の手帳または精神障害者保健福祉手帳（1・2級、1・2度）をお持ちの方がいる世帯

助成対象の工事内容
・既存のVHFアンテナをUHFアンテナに変更した場合
・新たにUHFアンテナを設置した場合
・加入済みのケーブルテレビのアナログ放送をデジタル放送に変更した場合（＊）
・新たにケーブルテレビに加入した場合（＊）
・光通信事業者の回線を使用しデジタル放送（アナログ放送の1～12チャンネルに対応）の視聴を可能にした場合（＊）
・簡易UHFアンテナを購入した場合
＊ケーブルテレビの視聴料や光通信の使用料は自己負担になります。

助成額の上限　1万500円（助成は1世帯1回限り）

問合せ　建築指導課建築事務主査　☎5211－4309

生物多様性推進会議
委員を募集

千代田区は、都心にありながら皇居の豊かな自然を抱え、多様な生物が生存し、私たちに安らぎを与えています。

区は、昨年度から区内の生物調査を進めています。今年度は、それらの生物が生き続けていくために必要な環境や、私たちに求められる行動は何かを考え、それらをまとめた「生物多様性地域戦略」の策定に向け検討を進めていきます。

今回、その検討を行う「生物多様性推進会議」に、住民の立場で参加していただける委員を募集します。関心のある方はご応募ください。

対象　区内在住・在勤・在学で次のいずれにも該当する方、2～3名程度（選考）
①生物を取り巻く環境に関心がある
②平日昼間の会議（年3回程度）に出席できる

任期　委嘱日から2年間

申込み　8月18日㈭（必着）までに、郵送またはEメール（4面参照）に応募動機と今まで行ってきた環境に関する活動など（様式自由・800字程度）を記入し、環境・温暖化対策課企画調査係（〒102－8688九段南1－2－1☎5211－4255 ✉kankyou-ondanka@city.chiyoda.lgjp）へ。

環境への取組みを支援
環境福祉教育事業助成金

環境体験学習や環境教育などを通じて、暮らしやすいまちづくりを推進する事業に対し、活動経費の一部を助成します。

対象　区民を対象に環境体験学習、環境教育を行う団体

助成額　1事業あたり10万円を上限

これまでの助成実績（一例）
・海浜清掃で集めた漂流物でアート作品を作成
・高齢者施設の花壇の整理と高齢者との交流
・廃油で作ったキャンドルを利用した省エネルギーイベント

申込み　事業実施1か月前までに所定の申込書で、ちよだボランティアセンター（〒101－0065西神田1－3－4西神田庁舎4階☎5282－3716 FAX5282－3718 ✉volunteer@chiyoda-cosw.or.jp）へ。
※申込書は、ちよだボランティアセンターで配布しています。
※内容を審査の上、後日結果をお知らせします。

「外部からの事務事業評価」

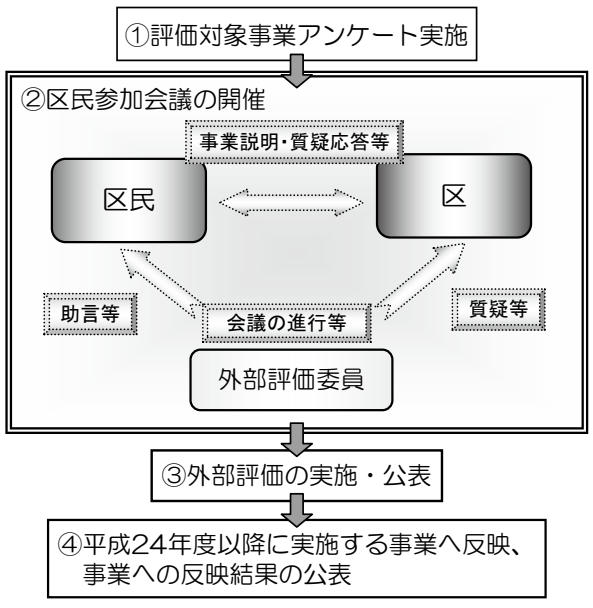
区民参加会議の傍聴者を募集

区は、区民サービスをより一層向上させるため、区民の皆さんの視点を取り入れた「外部からの事務事業評価」事業を今年度から実施します。今回、区民参加会議の傍聴者を募集します。

■事務事業評価の仕組み
①外部評価委員会が選定した区の主要な事業について、アンケート形式で区民の意見を把握します（無作為抽出した20歳以上の区民2千人を対象）。
②アンケートの回答者の中で、希望する方と区の職員が、事業について意見交換する区民参加会議を開催します。
③区民参加会議での議論やアンケート結果を踏まえ、外部有識者で構成される外部評価委員会が区の事業を評価し、その結果を公表します。
④区は、評価結果を平成24年度以降に実施する事業へ反映するよう努め、その反映結果を公表します。
※事業の内容等詳しくは、区のホームページ（URL http://www.city.chiyoda.lg.jp/service/00131/d0013104.html）をご覧ください。

■傍聴者の募集
とき・事業名　下図表のとおり
会場　千代田保健所3階多目的ホール（九段北1－2－14）
対象　区内在住・在勤・在学者
定員　各分野30名（抽選）
応募方法　8月16日㈫（必着）までにハガキ、ファクシミリまたはEメール（4面参照）に傍聴を希望する分野（第三希望まで）・性別・職業・連絡先を記入し企画調整課（〒102－8688九段南1－2－1☎5211－4141 FAX3264－1466 ✉kikaku@city.chiyoda.lg.jp）へ。
※託児サービス（満1歳～小学校就学前）や手話通訳が必要な方、車椅子で来場の方は、その旨も記入してください。
※傍聴者には、8月22日㈬までに傍聴券を郵送します。当日は受付で傍聴券を提示してください。

▼外部からの事務事業評価の仕組み



▼対象事業（予定）および会議日程

日　時	分　野	事業名（予定）
8月27日㈯ 9時30分～12時	A 区民生活	地域コミュニティ活性化事業、新・消費生活支援事業
8月27日㈯ 13時～17時	B 福祉・保健	風ぐるま（地域福祉タクシー）、在宅支援ホームヘルプサービス、各種健診・がん検診
9月3日㈯ 9時30分～17時	C 環境・まちづくり	次世代育成住宅助成、生活環境改善推進、帰宅困難者防災訓練、マンション防災対策、ヒートアイランド対策の推進

広　告

公開講演（参加無料）
東日本大震災の教訓
～地震工学の立場から～
講師：当麻　純一氏
㈶電力中央研究所　前地震研究所参事
知的財産センター所長

募集要項　定員80名　（先着順・定員になり次第、締め切りいたします）
※未就学児の入場をお断りしております。
申し込み方法　メール（infoten@denki-club.or.jp）または、往復はがきに（住所・氏名・年齢・職業・電話番号）、「当麻　純一氏講演会・参加希望」と明記し、お送りください。折り返しご連絡を差し上げます。
場所・時間　社団法人　電気倶楽部　平成２３年８月24日（水）下記住所にて
受付開始１５：４０　開演１６：００～１７：００
主催：㈳　電気倶楽部　http://www.denki-club.or.jp　〒100-0006 千代田区有楽町1丁目12番1号 新有楽町ビル10階

個室のあるフレンチレストラン
「レストラン・セン」フランス・国内の有名星付きレストランで培った
本格フランス料理と落ち着いたサービス・空間がございます（個室料無料）
ご記念日に特別ケーキ（有料）のご用意もございます。
昼コース２，５２０円～。　夜コース６，３００円～。アラカルトあり
千代田区九段南3-7-2（チュニジア大使館向かい）
ご予約・お問い合わせ 03-6272-3393
定休日：月曜日　www.restaurant-sen.jp
Restaurant Sen

家賃補助
高齢者向け優良賃貸住宅
こもれび東神田入居者募集中

▲こもれび東神田外観

住宅のバリアフリー化や緊急時対応サービスなど、高齢者の安全・安心を配慮した、高齢者向け優良賃貸住宅の入居者を募集しています。
　この住宅には、所得に応じた家賃補助制度（月額４万円が上限）の適用があります。また、区外に在住の方も申し込むことができます。

所在地	東神田１－３－４
家賃	105,500円～105,900円
共益費	9,000円
サービス費	15,000円

【　家賃補助後　65,500円～　】
平日（午前10時から午後5時の間）は、ヘルパー資格2級以上の管理員が常駐しております。
設備　：　緊急通報装置・床暖房・給湯・ガスコンロ2口・浴室手すり・トイレ手すり・個人ロッカー
問い合わせ：株式会社パワーズアンリミテッド　03-3356-0808

☆広報千代田では有料広告の掲載を募集しています。広告掲載希望は広報広聴課へ。☎5211－4174☆

生活ほっとライン

募集

ファミリー・サポート・センター支援会員募集

地域のお子さんの保育施設への送り迎え等、子育てのお手伝いをしていただける支援会員を募集しています（1時間800円～1000円の謝礼が依頼会員から支払われます）。登録には講習会の受講が必要です。

■支援会員講習会（全２日）

「子どもの健康管理」「事故予防と救命救急」「子どもの発達と遊び」などを学びます。

9月2日麹町区民館（麹町2－8）・9日神田公園区民館（神田司町2－2）いずれも金曜9時30分～16時30分、心身ともに健康で地域の子育てに理解と意欲のある18歳以上の区内在住・在学者（高校生不可）、電話で直接ファミリー・サポート・センター（☎3256－8161）へ。

お知らせ

日本百街道展

日本橋架橋100周年を記念し、全国街道交流会議「日本橋架橋100周年記念事業実行委員会」の主催で、日本橋を起点とする五街道をはじめ、全国街道交流会議が推奨する100街道を紹介する特別展です。千代田区の魅力を紹介するパネル展示もあります。

8月20日㈯～9月21日㈬、東京メトロ三越前駅通路（中央区日本橋室町）

㈫区民生活課事業推進主査　☎5211－4350

税金のお知らせ

■特別区民税・都民税（普通徴収分第2期分）の納期限は8月31日㈬です

金融機関、郵便局、区役所・出張所、指定のコンビニエンスストアで納めてください。携帯電話でも納付できます。

税務課納税促進係　☎5211－4193

■小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免（東京23区）

都は、中小企業者等を税制面から支援するため、23区内の小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税について、平成23年度分の税額を2割減免します。

減免を受けるには、申請が必要です。申請をしていない方で、小規模非住宅用地を所有していると思われる方に、7月下旬に「固定資産税の減免手続きのご案内」を送付しました。要件を確認のうえ、申請してください。

※前年度に減免を受けた方で用途を変更していない方は、新たに申請する必要はありません。詳しくはお問い合わせください。

千代田都税事務所固定資産税係　☎3252－7141

東日本大震災で被災した方へ未払賃金立替払制度

制度の内容　企業が倒産したため、賃金が支払われないままに退職した労働者に対して、その未払賃金総額のうち80％を限度に国が事業主に代わって立替払をする制度です。退職後、6か月以内に認定申請を行う必要があります（例・退職日が平成23年3月11日の場合は、9月11日が申請期限です）。

対象　企業の倒産に伴い退職し、未払賃金（総額2万円未満の場合を除く）が残っている方。なお、労働者の方が死亡している場合、また行方不明の場合には、遺族や家族が申請できます。

未払賃金の範囲　退職日の6か月前の日以降に支払日が来ている給与と退職金。

上限額＝45歳以上296万円、30歳以上45歳未満176万円、30歳未満88万円

問合せ　申請手続等詳しくは、東京労働局監督課　☎3512－1612

または最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

記事の訂正

「年金受給権者の住所変更届等」

7月20日号7面に掲載しました「年金受給権者の住所変更届等が省略可能に」の記事で、住民票コードを届け出ていない年金受給権者の届出の表記に誤りがありましたので訂正します。正しくは次のとおりです。

年金事務所へ「住民票コード」を届け出ていない年金受給権者は、これまで通り、住所変更届・死亡届の提出が必要です。

※なお「住民票コード」を年金事務所へ事前に届け出ている年金受給権者は、今年の7月から年金事務所への住所変更届・死亡届の提出が不要となりました。

千代田年金事務所　☎3265－4381

申込書の記入例

①催しなどの名称
②郵便番号・住所
③氏名（ふりがな）
④年齢
⑤電話番号

※託児サービス（満1歳～小学校就学前が対象）を希望する方は記入
⑥お子さんの氏名（ふりがな）
⑦生年月日
※往復ハガキの場合は返信側にも住所・氏名を忘れずに。
※Eメールの場合は件名にも催しなどの名称を。
※在勤・在学の方は勤務先（学校名）、所在地、電話番号を追記。
※費用の記載の無いものは原則無料。

※記入の際、摩擦や熱で消えるインクのペンは　使用不可。

―個人情報について―

■ 区主催
応募時の個人情報は厳重に管理し、その催し物のためだけに利用します。

■ 区以外
応募時の個人情報はその催し物のためだけに利用しますが、詳しくは、主催者にお問い合わせください。

都営住宅入居者募集

①一般募集（家族向・単身者向）②定期使用住宅（若年ファミリー向・多子世帯向）③若年ファミリー向④家族向ポイント方式⑤単身者向・単身者用車いす使用者向⑥シルバーピア（単身者向・二人世帯向）⑦事業再建者向定期使用住宅の入居者を募集します。

④の「ポイント方式」は、住宅困窮度の高い世帯から募集戸数分を登録し、あっせんする方式です。

⑦の「事業再建者向定期使用住宅」は、都営住宅の入居資格のほかに、事業の破たんで自己の所有する住宅を失った方で、民事再生法による再生計画の認可決定を受け、都内で事業を行っている中小企業の経営者向けの住宅です。

申込条件　都内に居住し、基準範囲内の所得で、現に住宅に困っていること。

※このほかにも、申込区分ごとに条件があります。詳しくは、募集案内をご覧ください。

申込書の配布　8月10日㈬まで都庁や東京都住宅供給公社募集センター（渋谷区神宮前5－53－67）・各窓口センター・情報コーナー（区役所2階／日曜を除く）・まちづくり総務課（区役所5階／土・日曜を除く）・出張所（土・日曜を除く）で配布します。

※募集申込書等は、東京都住宅供給公社のホームページからダウンロードすることができます。

申込期限　8月15日㈪（必着）まで

東京都住宅供給公社募集センター都営募集課　☎3498－8894

URL http://www.to-kousya.or.jp/

自衛官募集案内

防衛省自衛官を募集しています。

種目　①防衛大学校
②防衛医科大学校③一般曹候補生
④自衛官候補生⑤看護学生
⑥海上・航空自衛隊航空学生

対象　①②⑥＝18歳以上21歳未満の方
③④＝18歳以上27歳未満の方
⑤＝18歳以上24歳未満の方

※いずれも平成24年3月に高校および中等教育学校を卒業見込みの方を含む

申込期間　①②⑤＝9月5日㈪～30日㈮（必着）
③④⑥＝9月9日㈮まで（必着）

※①防衛大学校の推薦は9月5日㈪～8日㈭（必着）

問合せ　自衛隊東京地方協力本部港出張所　☎・FAX3591－5101

URL http://www.mod.go.jp/pco/tokyo/minato/index.html

計量器定期検査の事前調査があります

東京都計量検定所は、2年に1度計量法に基づき、商売または証明に計量器を使用している事業者に定期検査を行っています。区はこの事前調査として、事業者の皆さんに計量器の「種類」および「数量」の調査を行います。平成21年度に計量器を保有していた、または平成21年12月以降に開店した食料品店や診療所等の事業所にハガキ・封書を送付しています。返信用ハガキでご回答ください。

返送期限　8月19日㈮

都による定期検査の日程　12月1日㈭～平成24年1月27日㈮

問合せ　事前調査について＝区民生活課消費相談主査　☎5211－4179

定期検査について＝東京都検定所検査課計画係　☎5470－6638

▼計量器の定期検査に該当する主なはかり

No.	主な用途別はかり	該当○非該当×
1	小売店等で、商品の料金特定のための計量器	○
2	小売店等で、商品の料金特定のため以前に行う程度の計量器	×
3	大規模小売店舗のバックヤード・パックセンター等において計量し、計量値を商品に付する計量器	○
4	食品工場等で生産された商品に、その内容量を表示するための計量器	○
5	製造・加工工場等で、製品売買、材料仕入・供給、請負、役務等代金算定のための計量器	○
6	貴金属製品の取引において、質量を表記し記録するための計量器	○
7	質店等で、貸金算定のための計量器	○
8	宅配便取次店における料金特定のための計量器	○
9	病院・診療所等において、新生児の体重及び成長過程における記録及び妊婦の定期検診における計量器	○
10	保健所・病院等で健康診断を行う場合、または診断書を発行するための計量器	○
11	病院・診療所等において、患者のカルテに体重を記録するための計量器	○
12	学校・法人・団体等において、健康診断のため体重測定を行うための計量器	○
13	学校・施設等で教材・実習又は調理のために行う計量器	×
14	学校・病院・法人・施設等で給食材料仕入れの代金特定のための計量器	○
15	研究機関等が内部研究のために行う計量器	×
16	研究機関が、研究結果を外部に公表するための計量器	○
17	浴場・遊技場等でサービスで設置されている体重等の計量器	×
18	有料体重計において目安程度に使用するもの	×

8月27日(土)・28日(日)　～秋葉原から環境貢献～

アキバグリーンフェスティバル2011

「アキバグリーンフェスティバル」は、新しい文化が発祥し集客力の高い秋葉原から「環境」の大切さについて考え、行動するきっかけづくりとして平成21年から開催しています。

3年目の今年は『つながる』をテーマに、つくばエクスプレス沿線の茨城県つくば市をはじめ、区内の大丸有（大手町・丸の内・有楽町）地区、神田地区等の、地域と地域の間の連携をはかり、みんなが楽しめる体験型環境イベントを開催します。

イベントの内容等詳しくは、アキバグリーンフェスティバル2011のホームページ（http://www.akiba-agf.jp）をご覧ください。

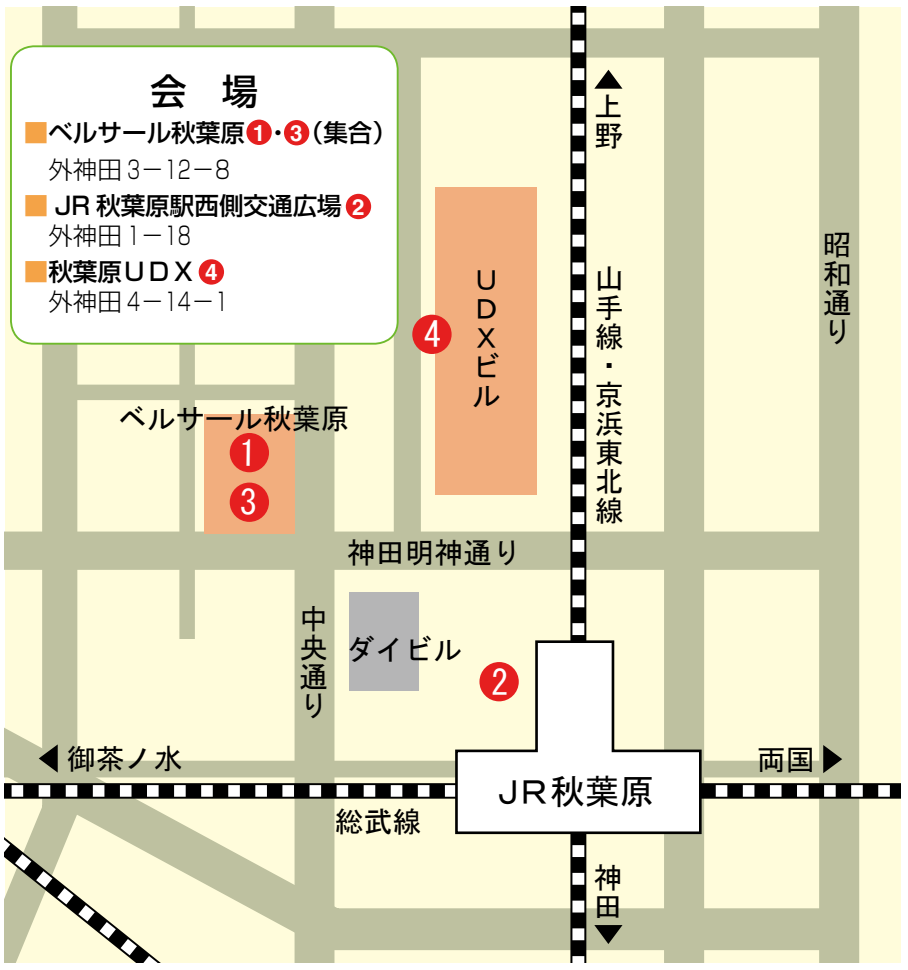
問合せ　秋葉原グリーンフェスティバル実行委員会（事務局・秋葉原タウンマネジメント）☎6383 − 3033

「Akiba-iポイント」がもらえます

アキバグリーンフェスティバル2011で❶秋葉原エコ縁日❸アキバクリーンキャンペーンに参加すると「Akiba-iポイント」がもらえます。

「Akiba-iポイント」は、秋葉原のまちへの貢献ポイントで、イベントやボランティアに参加するともらえます。10ポイント集めると、まちで使える割引券などと交換できます。

詳しくは秋葉原タウンマネジメントのホームページ（http://www.akiba-information.jp）をご覧ください。



❶ 秋葉原エコ縁日

夏休みの終わりに、エコを楽しく体験しませんか。無料で参加できるたくさんの体験コーナーがあります。

また、両日とも先着50名に記念プレゼントがあります。会場内のスタンプラリーでエコグッズももらえます。

とき　8月27日(土)・28日(日)12時～17時
会場　ベルサール秋葉原1階
問合せ　環境・温暖化対策課普及啓発係　☎5211 − 4253

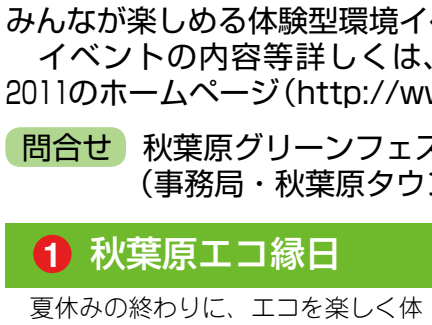
■粘土で自分だけの地球儀を作ろう

カラー粘土を透明の容器にうすく付けて、青い海や緑の陸地にします。7つの大陸や海のイラストを参考に、私たちが住む日本も作りましょう。ＬＥＤライトを乗せれば地球の色が変化します。

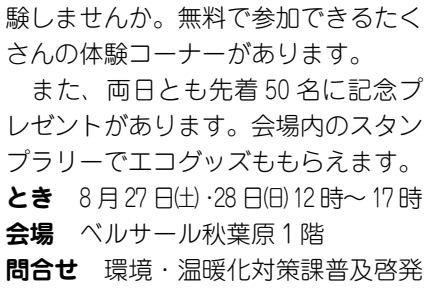
実施時間　両日とも12時30分～13時30分、15時30分～16時30分

■芝生のベンチで涼もう

茨城県つくば市は、芝生の生産量が全国1位です。今年の夏は、節電も兼ねてこの芝生で涼んでみませんか。芝生のベンチを用意していますので、天然のクーラーで涼をとって、夏バテしないように乗り切りましょう。



■エコドライブを測定しよう



ガソリンをなるべく使わないことは身近なエコ活動です。会場に設置する大スクリーンのエコドライブシミュレーターで、あなたのエコドライブ度をチェックしてみませんか。お父さんの腕の見せ所です。

■ビンゴで盛り上がろう

環境に優しい天然ガス自動車「NGV」で、環境に関するクイズを解きながらビンゴを完成させよう。完成したら素敵な景品がもらえます。

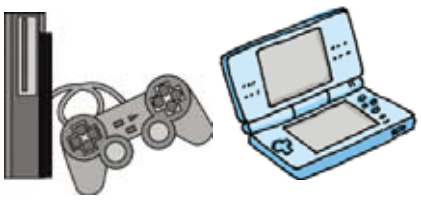
■おもちゃのかえっこ『かえっこバザール！』

誰かにとっていらない物は、誰かにとって楽しめる物になる時があります。「かえっこバザール」は、遊ばなくなったおもちゃをポイントに換えて、他のおもちゃと交換できる遊びのバザールです。最後に高ポイントのおもちゃを狙うオークションもあります。

■プレゼントツリーで森のふしぎ発見

みんなは森に行ったことがありますか。森にはたくさんのナゾがあります。いろいろな木を見たりさわったりして、アキバの森でふしぎを発見してみよう。

■君の大切なゲーム機をゆずってください



昔は大切にしていたけど、そのまま眠っているゲームはありませんか。そのままにしておくのはもったいないです。開発途上国の子どもたちへ、そのゲーム機を届けませんか。モノを大切にすることはエコにもつながります。

※ゲーム機を持って来てくれた方にはプレゼントを差し上げます。
※対応機種＝プレイステーションシリーズ、ニンテンドーDS、ゲームボーイA、PSP

❷ 地域連携物産展 in 秋葉原

震災の影響から、節電を余儀なくされたこの夏をエアコンの力を借りずに乗り切るためには、暑さに負けない体力が必要です。今回は、茨城県や福島県など被災地の生産者による、夏野菜を中心とした物品販売を行います。体力づくり・食育という観点から、さらには被災地の復興支援につなげます。

とき　8月28日(日)10時～17時（雨天・強風時は中止）
会場　JR秋葉原駅西側交通広場
問合せ　秋葉原タウンマネジメント　☎6383 − 3033

❸ アキバクリーンキャンペーン

一口に環境に貢献といっても、いろんなハードルがあってなかなか具体的なことができない場合でも、今自分がすぐにできる小さな行動も立派な環境貢献です。秋葉原のまちを清掃して、その一歩を踏み出しましょう。

とき　8月28日(日)15時30分～16時30分（雨天中止）
会場　秋葉原周辺（集合はベルサール秋葉原）
問合せ　秋葉原タウンマネジメント　☎6383 − 3033

❹ 秋葉原UDX「MOTTAINAI」フリーマーケット

「もったいない」の精神を大切に、フリーマーケットを開催します。

とき　8月28日(日)10時～16時（雨天中止）
会場　秋葉原UDX1階アキバ広場
問合せ　東京リサイクル運動市民の会　☎3384 − 6666

2011 子育て応援ガイドブック

区は「2011 千代田区子育て応援ガイドブック」＝写真＝を作成しました。妊娠中から 18 歳まで年齢別で受けられるサービスを紹介していますので、ぜひご活用ください。

総合窓口課（区役所 2 階）、出張所、児童館で配布しています。区のホームページ（http://www.city.chiyoda.lg.jp）でもご覧になれます。

児童・家庭支援センター　☎5298 － 2424

保育園

■麹町保育園「マザーズドリーム」

妊婦さんを対象に保育園体験入園を行います。9 月 6 日㈫ 10 時～11 時 30 分、9 月 2 日㈮までに要予約

「楽しみサタデー　ザ・救命講習」

消防士による本格的な救命講習です。9 月 10 日㈯ 10 時～11 時 30 分、9 月 8 日㈭までに要予約

―いずれも―

三番町 7☎3261 － 7960

■西神田保育園「エプロンさん」

保育園体験をしてみませんか。9 月 7 日㈬ 10 時～11 時、未就学児の親子 1 組（申込順）、西神田 2 － 6 － 2☎5215 － 9060、要予約

※給食の試食はありません。

神田児童館

「中高生集まれ　ドラム講習会」

プロのミュージシャンがドラムの技術を教えます。初心者も大歓迎です。

8 月 13 日㈯・20 日㈯・26 日㈮・31 日㈬いずれも16 時～18 時、区内在住・在学の中・高生、講師＝竹下宗男さん（プロドラマー）、申込みは電話または直接児童館（外神田 3 － 4 － 7☎3253 － 6021）へ。

千代田図書館 調べ物戦隊レファレンジャー

子どもたちや保護者の皆さんの「？（はてな）」をお助けします

読書相談とレファレンス（赤ちゃんのブックスタート、絵本の選び方、参考図書の使い方、感想文の本選びなど）を受け付けます。当日直接会場へ。

8 月 22 日㈪～ 27 日㈯いずれも 10 時～ 16 時、千代田図書館児童カウンター（区役所 10 階）、乳幼児～小学生とその保護者・中学生

千代田図書館　☎5211 － 4289

おはなし会

千代田区立図書館では、お子さんが本に親しめるように、定期的に絵本の読み聞かせ（30 分程度）を行っています。

■千代田図書館　☎5211 － 4289

8 月 18 日㈭ 11 時～（乳幼児向け）／8 月 20 日㈯ 15 時～（幼児以上向け）

■四番町図書館　☎3239 － 6357

8 月 28 日㈰ 14 時～15 時（幼児以上向け）

子育てハッピーデー

「パパ・ママのためのナチュラル防災講座」

災害時に、身近にあるもので慌てずに小さな命を守ることができるよう、講師がアウトドアの知識を用いて皆さんにお話しします。お子さんも一緒に参加でき、参加者同士で交流ができるランチタイムもあります。

9 月 3 日㈯ 10 時～13 時、西神田庁舎 6 階会議室（西神田 1 － 3 － 4）、お子さんがいる区内在住者 30 名（申込順）、参加費＝ 1,000 円（昼食代を含む・お子さんの昼食は用意してください）、講師＝あんどうりすさん（アウトドア流防災・防寒コーディネーター）、9 月 1 日㈭までに電話・ファクシミリまたは E メール（4 面参照）で社会福祉協議会（☎5282 － 3711 FAX5282 － 3718 ✉chiiki@chiyoda-cosw.or.jp）へ。

こどもの国でウォークラリー

区民スポーツ大会の一環として、ウォークラリーを開催します。希望者は野外料理体験もできます。

9 月 11 日㈰ 9 時～17 時（8 時 45 分区役所前集合・雨天中止）、こどもの国（神奈川県横浜市）、区内在住者 80 名（申込順・小学生以下は保護者同伴）、参加費＝大人 1,500 円／小・中学生 1,000 円／ 3 歳以上 800 円（往復バス代・入園料・傷害保険料を含む）、8 月 22 日㈪ 17 時までに所定の申込用紙（スポーツセンター〈内神田 2 － 1 － 8〉・文化スポーツ課・出張所で配布）に参加費を添えて直接文化スポーツ課スポーツ振興係（区役所 2 階 ☎5211 － 3627 FAX 3264 － 7989）へ。

※ファクシミリ（4 面参照）でも申込み可能ですが、参加決定後に参加費を銀行振込（手数料は申込者負担）してください。

のびのび子育て

▲親子料理教室（千代田小学校）

九段中等教育学校 6 年生対象適性検査解説会

昨年度の適性検査で出題された、いくつかの問題の解答の書き方を解説します。問題はあらかじめ解いた上で持参してください。

10月10日㈷第1回＝8時45分～10時／第2回＝10時15分～11時30分／第3回＝12時45分～14時／第4回＝14時15分～15時30分、九段中等教育学校九段校舎（九段北2－2－1）、都内在住の小学6年生で九段中等教育学校の受検を希望する児童各回120名（申込順）、9月9日㈮までに往復ハガキ（4面参照）に希望の回（第3希望まで）・学校名・学年・性別・特に解説を聞いてみたい問題の小問3題を記入し九段中等教育学校（〒102－0073九段北2－2－1☎3263－7190）へ。

児童扶養手当の現況届等の手続きを

児童扶養手当や特別児童扶養手当を受給している方が、引き続き手当を受給するには「現況届（場合により一部支給停止適用除外事由届出書を含む）」の提出が必要です。該当者には、すでに通知していますので必ず提出してください。

提出期限等は下図表のとおりです。提出がないと手当が支給停止または減額されますので、ご注意ください。

問合せ　子ども支援課手当・医療係　☎5211 － 4230

	対　象	提出期限
児童扶養手当	母子（父子）家庭または父（母）に重度の障害があり、18 歳に達した日以降の最初の 3 月 31 日を迎える前の児童がいる方（児童が中程度以上の障害がある場合は 20 歳未満）	8 月 31 日㈬
特別児童扶養手当	20 歳未満で心身に障害がある児童がいる方 **愛の手帳**　1 ～ 3 度程度（一部 4 度を含む） **身体障害者手帳**　1 ～ 3 級程度（一部 4 級を含む）	9 月 12 日㈪

平成 23 年度秋期ポリオ予防接種

とき・会場　下図表のとおり

※各病院（保健所は除く）へ電話で直接予約し、接種してください。

対象　生後 3 か月～7 歳 6 か月未満のお子さん

※平成 22 年 7 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日生まれのお子さんには、ポリオ予防接種記録票（予診票）を送ります。

接種回数　2 回（2 回目は 1 回目から 41 日以上あけてください。）

※ 7 歳 6 か月未満で 2 回接種していない方はお問い合わせください。

持ち物　母子健康手帳、予診票

問合せ　健康推進課保健予防係　☎ 5211 － 8172

会場・予約先	とき	
千代田保健所（九段北 1 － 2 － 14） **☎5211 － 8172**（予約不要）	9 月　7 日㈬ 9 月 13 日㈫ 9 月 28 日㈬	13 時 30 分～14 時 30 分
東京逓信病院（富士見 2 － 14 － 23） **☎5214 － 7381**（月～金曜 9 時～ 17 時）	9 月 12 日㈪ 9 月 26 日㈪	13 時～14 時 30 分
三井記念病院（神田和泉町 1） **0120 － 863 － 212**（月～金曜 12時～ 16時） ※ 9/20～10/6のみの回線です。	10 月　6 日㈭	13 時～14 時 30 分
駿河台日本大学病院（神田駿河台 1 － 8 － 13） **☎3293 － 1938**（月～金曜 9時～ 16時） ※ 9/20 ～ 10/25（10/4 を除く）のみの回線です。	10 月 11 日㈫ 10 月 18 日㈫ 10 月 25 日㈫	13 時 30 分～14 時 30 分

子宮頸がんワクチン予防接種　区が費用を助成

区は、子宮頸（けい）がんワクチン予防接種費用の一部を助成しています。今年度は対象を 19 歳まで拡大しています。

ワクチンの供給が全国的に不足し初回接種者への接種を控えていましたが、7 月下旬から助成対象の全ての方への接種を再開しています。平成 4 年 4 月 2 日～平成 8 年 4 月 1 日生まれの方は、今年の 9 月までに 1 回目の接種を済ませ、平成 24 年 3 月までに 3 回目の接種を済ませましょう。

対象・助成期間　下図表のとおり

接種回数　3 回（1 回目接種後 1 か月後に 2 回目接種、その 5 か月後に 3 回目接種をしてください）

助成額　1 回 15,000 円× 3 回

助成方法　対象者に助成クーポン券を送っています。指定医療機関の窓口に助成クーポン券を提出し、接種料金から 15,000 円を除いた額を支払ってください。

※転入された方など、クーポン券がない方はご連絡ください。

※指定医療機関は区のホームページ（http://www.city.chiyoda.lg.jp/service/00123/d0012340.html）をご覧ください。

問合せ　健康推進課保健予防係　☎5211 － 8172

		ワクチン接種助成期間			
		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
年齢	生年月日	11月1日開始～平成23年3月31日	4月1日～平成24年3月31日	4月1日～平成25年3月31日	4月1日～平成26年3月31日
13 歳	平成 10 年 4 月 2 日～平成 11 年 4 月 1 日生		13 歳	14 歳	15 歳
14 歳	平成 9 年 4 月 2 日～平成 10 年 4 月 1 日生	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳
15 歳	平成 8 年 4 月 2 日～平成 9 年 4 月 1 日生	14 歳	15 歳	16 歳	
16 歳	平成 7 年 4 月 2 日～平成 8 年 4 月 1 日生	15 歳	16 歳		
17 歳	平成 6 年 4 月 2 日～平成 7 年 4 月 1 日生	16 歳	17 歳		
18 歳	平成 5 年 4 月 2 日～平成 6 年 4 月 1 日生	17 歳	18 歳		
19 歳	平成 4 年 4 月 2 日～平成 5 年 4 月 1 日生	18 歳	19 歳		

掲載した写真を差しあげます。詳しくは、広報広聴課へ。

いきいきライフ

▲納涼民踊の集い（靖國神社）

高齢者センター

■講習会「携帯電話を使いこなそう」

とき　8月30日㈫午前10時～正午（入門編）／午後1時30分～3時30分（ステップアップ編）

対象　60歳以上の区内在住者各30名（申込順）

内容　入門編＝基本的な操作方法／ステップアップ編＝メール機能を中心にした操作（基本操作ができる方が対象）

講師　NPO法人竹篩（たけぼうき）の会スタッフ

参加費　100円

申込み　8月8日㈪～22日㈪に電話または直接高齢者センター窓口へ。

■納涼会

どなたでも参加できる恒例の納涼会です。みんなで楽しく踊りましょう。

とき　8月21日㈰午後1時～2時30分

※事前に盆踊りの練習日もあります。ぜひご参加ください。

内容　盆踊り・スイカ割り・ゲームコーナー・ポップコーン

※一部有料です。

―いずれも―

会場　高齢者センター（神田神保町2－20☎3265－3981）

頭・こころ・からだに効く すこやかウォーキング教室

毎日の生活でウォーキングを習慣づけることにより体力向上を推進します。また、ウォーキングを楽しむため、グループで行き先を計画して実行するなど、仲間づくりと認知機能の活性化を図ります。1回目は、認知症予防ミニ講演会と脳の健康度チェック、運動機能計測を実施します。

とき・会場　下表のとおり

※教室終了以降も継続教室があります。

対象　65歳以上の区内在住者で、会場まで歩いて参加できる方

定員　火曜コース・金曜コースいずれも20名（申込順）

申込み　8月31日㈭までに電話で高齢介護課介護予防係（☎5211－4222）へ。

※申込状況により、コースを変更してもらう場合があります。

		とき	会場
1回目（ミニ講演会、認知機能・運動計測）		9月12日㈪ 午後1時～3時30分	区役所4階会議室
2回目～13回目	火曜コース	9月27日～12月13日 午前10時～11時30分	かんだ連雀（神田淡路町2－8－1）
	金曜コース	9月30日～12月16日 午前10時～11時30分	いきいきプラザ一番町（一番町12）

介護予防コーナー

認知症の予防に取り組みましょう

介護が必要となる病気のひとつに認知症があります。現在、アルツハイマー型認知症の根本的な予防法はわかっていません。しかし、生活習慣に気をつけることが認知症の予防になることがわかっています。

■認知症予防には

まずウォーキングなどの有酸素運動（息を止めない運動）で脳の血流を増加させ、高血圧や高脂血症を改善することがあげられます。食事では、不飽和脂肪酸を多く含んだ魚や抗酸化作用がある野菜や果物をとることが大切です。また、見たり読んだりと好きなことをして脳を使ったり、家族や友人とふれあい、人とのつながりを大切にしながら生活したりすることも重要です。このように、毎日の生活のなかで、認知症予防は、からだとこころの両面から進めることができます。

■区の教室などに参加を

区は認知機能向上教室や運動教室などを開催しています。これらも利用し、自分の生活スタイルに合った認知症予防に取り組んでいきましょう。

問合せ　高齢介護課介護予防係　☎5211－4222

「秋からはじめる講座・講習会」参加者募集

学びの秋、みんなで楽しく学習しましょう。

とき・会場・内容など　下表のとおり

対象　60歳以上の区内在住者

申込み　8月13日㈯～27日㈯にハガキ1枚（未記入のもの）をお持ちの上直接高齢者センター窓口（神田神保町2－20☎3265－3981）へ。

※電話または郵送での申込みはできません。

※参加するには、高齢者センターの利用登録が必要です。

※申込み多数の場合は抽選となります。

※9月6日㈬までに返信がない場合はお問い合わせください。

	講座・講習会名（会場）	回数	とき	曜日	時間	定員・参加費
①	仏像に迫る～講師と共に訪ねる「大倉集古館」～	3	9/15・22・29	木	午後1時30分～3時	20名 300円＊
②	司馬遼太郎の歩いた道～その紀行と思索～	7	9/20、10/4・18、11/1・15、12/6・20	火	午前10時30分～正午	50名 700円
③	歴史めぐりウォーキング（谷中・築地・六本木方面）	3	9/26、10/3・17	月	午前9時10分～正午	30名 500円＊
④	野草と木の花探検（皇居東御苑）	1	10/13	木	午前9時30分～正午	20名 350円＊
⑤	お花をもっと身近に！フラワーアレンジメント	4	10/13・27、11/24、12/8	木	午後1時30分～2時30分	16名 2,500円
⑥	自彊術〈じきょうじゅつ〉	3	10/17・24・31	月	午後0時10分～1時15分	15名 100円
⑦	呼吸から始める発声法	8	10/24・31、11/7・14・21・28、12/5・12	月	午前10時30分～正午	30名 1,500円
⑧	頭脳ゲーム「オセロ」	2	10/29、11/5	土	午前10時30分～正午	20名 200円
⑨	コーヒーについて知ろう	2	⑴11/9 ⑵11/16	水	⑴午前10時～11時30分 ⑵午前9時～11時	15名 200円＊

（　）書きの会場表記のないものは、高齢者センターで行います。

＊参加費のほかに、外出時の交通費等実費がかかります。

身体障害者を対象とする特別区職員の募集

職種　Ⅲ類（事務）

選考日　10月10日㈷（第1次）

申込期限　郵送＝9月12日㈪（消印有効）／インターネット＝9月12日㈪まで／持参受付＝9月13日㈫・14日㈬午前8時30分～午後5時

※詳しくは、区役所などで配布する採用選考案内をご覧ください。

問合せ　特別区人事委員会事務局任用課採用係　☎5210－9787
URL http://www.tokyo23city.or.jp/saiyou-siken.htm
㈼人事担当課　☎5211－4149

障害基礎年金所得状況届の提出を

20歳前の傷病を原因とする障害基礎年金の受給権者は、至急「所得状況届」を保険年金課（区役所2階）へ提出してください。提出がない場合は、年金が支給停止になりますのでご注意ください。

問合せ　保険年金課国民年金係　☎5211－4202

障害者就労支援センター

障害者就労支援センターでは、3名のジョブコーチが、障害（身体・知的・精神・発達障害など）のある方の就職活動や就労中の支援・相談受付、企業からの相談受付などを行っています。ほかにも、講演会や広報紙の発行を通して、障害のある方の就労についての理解促進を行っています。

また、今年度から毎月第3水曜に「障害者就労相談室」（予約制）を実施しています。詳しくは、お問い合わせください。

場所　生活福祉課内（区役所3階）

問合せ　障害者就労支援センター
☎3264－2153 FAX 3264－0927
chiyoda.syuroushien@swan.ocn.ne.jp

障害者福祉センター「えみふる」

■社会適応支援

安定した職業生活の継続を図るための、コミュニケーションや社会生活のスキルを学び、交流する社会適応支援を行っています。

対象　障害者手帳をお持ちの区内在住者で、一般企業に就労している方または企業実習に参加している方

■地域生活リハビリ

高次脳機能障害と診断され、発症から3年未満あるいは日常生活に困難がある方を対象にリハビリ事業を行っています。

対象　18歳以上の区内在住者（身体障害者手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方）

※65歳以上は就労先がある方

―いずれも―

会場　障害者福祉センター「えみふる」

申込み　電話・ファクシミリ（4面参照）または直接障害者福祉センター「えみふる」（神田駿河台2－5☎3291－0600 FAX 3291－0608）へ。

神田で元気に手遊びフラ体操

その物忘れは、年齢？それとも認知症状？

フラ体操は、足と手を使って活発に動くことから、脳内の血流が増加し、脳が活性化します。そのため、認知症の予防に役立ちます。また、規則正しいリズムの曲にあわせ、安定した姿勢を保って歩くため、下半身の筋力を維持でき、転倒の予防にも役立ちます。

とき　8月17日㈬午後1時30分～3時

会場　かんだ連雀1階ホール（神田淡路町2－8－1）

申込み　前日までに電話またはファクシミリ（4面参照）で高齢者あんしんセンター神田（☎5297－2255 FAX 5297－2256）へ。

講演会

「よく生き、良い死を迎えるために そのⅢ」～レオナルド・ダ・ヴィンチの現代医学への功績～

とき　9月2日㈮午後2時30分～4時30分

会場　かんだ連雀1階ホール（神田淡路町2－8－1）

定員　80名

講師　内野滋雄さん（東京医科大学名誉教授）

申込み　電話またはファクシミリ（4面参照）で、かんだ連雀（☎3252－8815 FAX 3252－8816）または岩本町ほほえみプラザ（☎5825－3407 FAX 5825－3408）へ。

後期高齢者医療制度

限度額・標準負担額減額認定証

同一世帯全員の住民税が非課税の場合、入院時に認定証を医療機関の窓口に提示すると、入院時食事療養費が減額されます。入院中の方や入院予定のある方は保険年金課（区役所2階）へ申請してください。

平成23年7月31日まで有効の認定証をお持ちの方には、7月下旬に新しい認定証を送付しました。今後は、新しい認定証をお使いください。

問合せ　保険年金課後期高齢者医療係　☎5211－4206

肺炎球菌予防接種費用を助成

肺炎は高齢者の死亡原因の第4位で、そのうち約半数が肺炎球菌によるものとされています。予防には肺炎球菌ワクチン接種が有効です。区は、肺炎球菌予防接種費用の2分の1を助成します。

期間　平成24年3月31日㈯まで

場所　区内の肺炎球菌予防接種指定医療機関（詳しくは、区のホームページ〈http://www.city.chiyoda.lg.jp/service/00103/d0010328.html〉をご覧いただくか、お問い合わせください）

対象　平成23年12月31日現在満65歳以上で、過去に肺炎球菌予防接種を受けていない方

自己負担　4,000円

問合せ　健康推進課保健予防係　☎5211－8172

原爆被爆者に見舞金を支給

8月1日現在、区内在住で被爆者健康手帳をお持ちの方に、見舞金（2万円）を支給しています。該当の方は生活福祉課（区役所3階）で申請手続きをしてください。

※昨年度の受給者の方には、申請書を送付しています。

問合せ　生活福祉課生活支援係　☎5211－4215

難病医療券の更新手続きを

有効期限が9月30日㈮までの難病医療券をお持ちの方は、千代田保健所健康推進課（九段北1－2－14）で、早めに更新手続きをしてください。更新手続きに必要な書類は、東京都福祉保健局から送付されている「医療費助成の有効期間満了のお知らせ」をご覧ください。

問合せ　健康推進課保健予防係　☎5211－8174

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

いきいきライフ

シルバー人材センター

■パソコン教室

とき　下表のとおり

会場　西神田庁舎5階（西神田1－3－4）

対象　50歳以上のパソコン初心者

内容　①～④＝パソコン入門コース（マウス・キーボード操作／デジタルカメラ操作・ホームページ検索／メール送受信）

参加費　3,000円（教材費は別途）

申込み　8月15日㈪までに電話で

▼パソコン教室の日程

とき				定員
①	8月23日～9月13日(全4回)	火曜	午前10時～正午	各回8名（抽選）
②			午後2時～4時	
③	8月25日～9月15日(全4回)	木曜	午前10時～正午	
④			午後2時～4時	

シルバー人材センターへ。

※申込みが定員に満たない場合は、開催を中止する場合もあります。

■会員募集

8月・9月はシルバー人材センターの会員増強強化月間です。区内在住のおおむね60歳以上の方を広く募集しています。健康で働く意欲のある方、会員になって一緒に働きませんか。毎週火曜の午後2時から事務局で入会説明会を開催しています。詳しくは、お問い合わせください。

※洋裁リフォーム・ヨガ教室・リサイクルセンター管理運営・パソコン入力・公園清掃等いろいろな仕事があります。

―いずれも―

問合せ　シルバー人材センター　☎5282－3721

美術館・博物館等の催し　（9面のつづき）

※印の施設は、月曜が祝日のとき開館し、翌火曜を休館します。

館名	催し物	会期	休館日	展示内容等	料金	電話
昭和館	戦後復興までの道のり －配給制度と人々の暮らし－	～8/28㈰	月 8/15は開館	戦争の影響を受けながらも人々が物資不足のなか、さまざまな工夫をし暮らしをやりくりしたか、また戦争直後の混乱期を生きぬき、いかに復興をなしえたかを紹介。	無料（常設展示室は有料）	☎3222－2577
千秋文庫	佐竹家所蔵　古地図展	～8/11㈭	日・祝日	マテオリッチ萬国輿地図、世界地図、日本地図のほか、初代歌川広重の「名所江戸百景」（初摺り平成復刻版）の中から、夏の景16点も併せて展示します。	400円	☎3261－0075
逓信総合博物館	企画展「新収蔵資料展」	～9/4㈰	月・火	過去1年間に寄贈・収蔵された資料を展示します。詳しくは、ていぱーくホームページ（http://www.teipark.jp）をご覧ください。	110円	☎3244－6821
東京国立近代美術館	イケムラレイコ　うつりゆくもの	8/23㈫～10/23㈰	月※	ドイツ・スイス・日本を中心に活躍するアーティスト、イケムラレイコの日本初となる本格的な回顧展。絵画、彫刻、ドローイング約145点を展示。	850円	☎5777－8600（ハローダイヤル）
東京国立近代美術館工芸館	所蔵作品展　しまシマ工芸館	～8/31㈬	月	伝統的な縞模様を受け継ぐ染織作品、自然の作った縞というべき木目を生かした木工作品、練上手という技法で色を重ねた陶磁器などを展示。	200円	☎5777－8600（ハローダイヤル）
日本カメラ博物館	技術のルーツをたどる カメラはじめて物語	～10/23㈰	月※	写真やカメラに関する「はじめて」をテーマに、カメラの機構や構造のルーツをたどることができる展示をし、現在に至る写真やカメラの歴史をやさしく紹介。	300円	☎3263－7110
ニューオータニ美術館	開館20周年記念展第2弾　大谷孝吉コレクション「相撲錦絵の世界」	～8/28㈰	月※	歌舞伎と並ぶ人気を背景に、勇壮な力士の版画が売り出されました。江戸時代の勝川春章から、鮮やかな色彩の明治時代の版画までの約60点を展示します。	500円（宿泊客は無料）	☎3221－4111
自然環境情報ひろば丸の内さえずり館	木づかいのすすめ ～2011年国際森林年～	～9/29㈭	土・日・祝日	今年は、国連が定めた国際森林年です。世界と日本の森林を守るために、日本の木をつかうことの意義について考えます。関連セミナー（8/10㈬、9/8㈭・28㈬）	無料	☎3283－3536
三菱一号館美術館	もてなす悦び－ジャポニスムのうつわで愉しむお茶会	～8/21㈰	月 8/15は開館	19世紀後半、欧米でジャポニスム旋風が巻き起こった時代ティファニー、ミントン他の陶磁器、銀器、ガラス作品などを展示。	1,200円	☎5777－8600（ハローダイヤル）
明治大学博物館	民衆の図像展	8/21㈰～28㈰	―	日本古来の出産・育児に関する図像や、神仏の教えや異界の諸相を示した図像、「絵解き」研究の第一人者、林雅彦氏所蔵の古画等を紹介します。	無料	☎3296－4448
文部科学省情報ひろば	子ども霞が関見学デー	8/17㈬・18㈭	土・日・祝日	子どもたちが自由に霞が関で遊べる子ども見学デーに、スポーツ選手との交流イベントや物作り体験イベントを開催します。	無料	☎6734－2170

生活ほっとライン

お知らせ

MIW（ミュウ）インターネット体験教室

初心者を中心に、インターネットの基礎知識・基本操作・安全対策等を学びます。日常生活の中で具体的に活用する方法を楽しく体験してみませんか。

9月1日㈭14時～15時、男女共同参画センターMIW（区役所10階）、定員2名（抽選）、8月18日㈭までに往復ハガキ（4面参照）に希望時間を記入しMIW（〒102－8688九段南1－2－1☎5211－8845）へ。

※託児サービス（有料・2週間前までに要予約）あり。

公開講座「絵手紙」

秋の便りを絵手紙でつくります。秋を感じる題材を描きます。

8月23日㈬13時30分～15時、障害者福祉センター「えみふる」（神田駿河台2－5）、区内在住者10名（申込順・障害の有無は問いません）、講師＝池田由美さん（日本絵手紙協会公認講師）、参加費＝200円程度（教材費）、8月16日㈬までに電話・ファクシミリ（4面参照）または直接「えみふる」・相澤（☎3291－0600 FAX 3291－0608）へ。

公開講座「ふれあいスポーツ」

だれでも簡単にできるボールを使ったゲーム（共遊球技）を行います。

8月22日㈫13時30分～15時、障害者福祉センター「えみふる」（神田駿河台2－5）、区内在住者15名（申込順・障害の有無は問いません）、講師＝竹内啓也さん（統合スポーツ共遊球技研究所主宰）、8月15日㈫までに電話・ファクシミリ（4面参照）または直接「えみふる」・相澤（☎3291－0600 FAX 3291－0608）へ。

男女共同参画センターMIW（ミュウ）の講座
「文学・音楽・美術の中にみる男女の生き方」

文学・音楽・美術をジェンダーの視点で読み解き、それぞれの社会、時代を背景に男女がどのように描かれ、作られてきたかを知り、男女の生き方や関係性などを考えます。

※希望日のみの参加も可。

とき・内容　下図表のとおり

会場　区役所4階会議室

定員　40名（申込順）

とき	内容	講師
9月10日㈯ 14時～16時	「美術」にみる男女の生き方 『Mother`s』－自作を語る	石内都さん（写真家、ベネチア・ビエンナーレ2005年日本代表）
9月17日㈯ 14時～16時	「音楽」にみる男女の生き方 歴史に埋もれた女性作曲家たち	小林緑さん（国立音楽大学名誉教授）
9月28日㈬ 14時～16時	「文学」にみる男女の生き方 村上春樹が描く「女性」と「男性」	市川真人さん（ブックコメンテーター）

申込み　電話・ファクシミリまたはEメール（4面参照）でMIW（☎5211－8845 FAX 5211－8846 ✉ miw@city.chiyoda.tokyo.jp）へ。

※希望日のみの参加の場合は、日にちも書いてください。

※託児サービス（有料・2週間前までに要予約）あり。

※メールの操作方法は含まれません。

九段ＬＬカフェ講座

プロが教える鉄道写真講座～コンパクトデジカメで都電風景を撮影しよう～

鉄道写真家として活躍する講師と、都電が走る情緒あふれる街並みを撮影してみませんか（全3回）。撮影のポイント、マメ知識も教えます。最終回は、実際に撮った写真の講評を行います。

①9月26日㈪19時～20時30分「講義＝鉄道写真撮影の心得」／②10月8日㈯10時～12時（午前コース）または13時～15時（午後コース）「撮影＝都電風景を撮る」／③10月31日㈪19時～20時50分「講評＝撮影写真を振り返る」、①③は九段生涯学習館（九段南1－5－10）、②は都電荒川線沿線、講師＝山﨑友也さん（鉄道写真家）、コンパクトデジカメをお持ちの方20名（申込順）、参加費＝5,000円（区内在住者およびすぽすた会員は4,000円〈保険料を含む〉）、8月8日㈪10時から電話またはホームページで九段生涯学習館（☎3234－2841 URL http://www.kudan-ll〈エルエル〉.info）へ。

※②は希望コースをお知らせください。

マンション耐震セミナー

都は、分譲マンションの耐震改修の普及促進を目的とした「マンション耐震セミナー」を開催します。奮ってご参加ください。

9月3日㈯13時30分～、都庁都民ホール（新宿区西新宿2－8－1）、マンションの管理組合・区分所有者等250名（申込順）、電話またはファクシミリ（4面参照）でNPO法人建築技術支援協会PSATS（サーツ）（☎5689－2911 FAX 5689－2912）へ。

生活習慣病予防教室（2日制）

足がだるい、痛い、重い、むくみやほてり、寝ている時に足がつる、血管がボコボコ膨れる、血管が浮き出て見える、皮膚が茶褐色になる、皮膚がぼろぼろになるなどの症状がありましたら、下肢静脈瘤かもしれません。

1日目は、下肢静脈瘤の専門病院の医師による講演会、2日目は運動指導員による生活習慣病を予防・改善する運動の話と実践です。

とき・内容　下図表のとおり

会場　いきいきプラザ一番町地下1階カスケードホール（一番町12）

対象　20歳以上で千代田区に住民票があり現在住んでいる方、各回50名（申込順）

申込み　電話で健康推進課健康推進係（☎5211－8161）へ。

▼生活習慣病予防教室（2日制）

とき	内容	講師
9月15日㈭ 13時30分～15時30分	足の静脈の話～下肢静脈瘤とは？～	保坂純郎さん（四谷・血管クリニック院長）＝写真
9月16日㈮ 13時30分～15時	生活習慣病を予防・改善する運動の話と実践	染谷由希さん（順天堂大学スポーツ健康科学部助手）

美術館・博物館等の催し　主に企画展・特別展を掲載しています

※印の施設は、月曜が祝日のとき開館し、翌火曜を休館します。

館名	催し物	会期	休館日	展示内容等	料金	電話
アーツ千代田3331	3331子ども夏休み企画 「かえっこバザール！」	8/21㈰	8/13～16（全館休業日）	遊ばなくなったおもちゃをポイントに換えて他のおもちゃと交換できる「かえっこバザール」。最後には高ポイントのおもちゃを狙えるオークションもあります。	無料	☎6803－2441
相田みつを美術館	第48回企画展 夏休み特集 「子どもへのまなざし－トマトとメロン－」	～9/11㈰	9/5	子どもたちが「それぞれに自分のいのちを百点満点に生きる」ためにはどうしたらよいのか？相田みつをの書や詩の中に、ヒントとなるものが見つかるはず。	800円	☎6212－3200
イタリア文化会館	日本×ファエンツァ やきものの現在（いま）	9/2㈮～23㈷	日・9/17	陶芸の町ファエンツァで開催される伝統あるコンクールの日本人受賞者39名の作品を展示します。	無料	☎3264－6011 内線13・14
出光美術館	明・清陶磁の名品 －官窯の洗練、民窯の創造	～9/4㈰	月	出光コレクションの明・清陶磁の名品を一堂に展観し、中国陶磁の究極の成就を紹介します。	1,000円	☎5777－8600（ハローダイヤル）
科学技術館	2011年夏休み特別展 「科学捜査展」	8/6㈯～21㈰	－	テレビや映画などでお馴染みの指紋鑑定や、古くから存在する筆跡鑑定など、様々な鑑定技術について体験型の装置・映像と解説パネルで紹介します。	700円	☎5777－8600（ハローダイヤル）
宮内庁三の丸尚蔵館	ひろげる、たのしむ、小粋な日本画 －近代画帖（がじょう）の美	～9/11㈰	月※・金	明治・大正・昭和と皇室に数多く献上された画帖を展示。折り畳まれた一冊の中に多彩な絵が収められた画帖の魅力を紹介。	無料	☎5208－1063
国立劇場伝統芸能情報館	企画展示「歌舞伎入門～義経千本桜の世界～」	～9/19㈷	8/31	人形浄瑠璃全盛期の作品で、後に「三大名作」と呼ばれる歌舞伎義太夫の一つである『義経千本桜』を題材にとり、歌舞伎ならではの約束事や小道具を紹介します。	無料	☎3265－7061
国立演芸場展示室	演芸資料展「怪談」	～9/20㈫	8/22～26・31	夏の風物詩でもある「怪談」は演芸のなかにも多く登場します。三遊亭圓朝とその代表作を中心に国立劇場の所蔵資料および公演記録から「怪談」の流れをたどります。	無料	☎3265－7061
国立公文書館	創立40周年記念　連続企画展Ⅳ 公文書資料群の形成	8/16㈫～9/16㈮	土・日	「記録目録」によって整理され、開館当初から貴重な資料として公開されてきた資料群（公文録、太政類典、公文類聚など）を中心に展示します。	無料	☎3214－0621
JCIIフォトサロン	幕末・明治維新を生き抜いた人々	～8/28㈰	月 祝日は開館	ペリー提督や福沢諭吉、岩倉具視、徳川慶喜や伊藤博文など、幕末の動乱期から明治政府が誕生するまでの、激動の時代を生きた人々の肖像写真、約160点を展示。	無料	☎3261－0300
衆議院憲政記念館	永年在職表彰元議員肖像画展12	～9/29㈭	月の末日	国会議員の在職期間が25年に達した者は、院議をもって永年在職の表彰決議が行われる。戦後、表彰された議員を順次紹介する。	無料	☎3581－1651
しょうけい館	企画展「戦盲」～失明戦傷病者がたどった戦中・戦後～	～9/25㈰	月※	日中戦争で両眼を失明した原田末一さん（1896～1999）を中心に、戦争により失明した戦傷病者がたどった戦中・戦後の労苦を紹介します。	無料	☎3234－7821

＊震災の影響により、日程などが変更になる催し物もあります。事前に確認の上お出かけください。

生活ほっとライン

募集

中高年のための水中エクササイズとリラクゼーション

水中で腰や膝に負担をかけずに体を動かし、楽しみながら足腰の強化や運動不足を解消してみませんか。

9月17日～10月22日の毎週土曜（全6回）10時30分～11時30分（10時集合）、いきいきプラザ一番町8階温水プール、65歳以下の健康な方25名（申込順）、講師＝千葉紘一さん（千代田区水泳連盟）、参加費＝区内在住者3,500円／その他の方6,000円（プール料金を含む）、9月15日㈭までに電話または直接いきいきプラザ一番町1階受付（一番町12☎3265－6311）へ。

※参加費は、住所の確認できるものをお持ちの上、いきいきプラザ一番町でお支払いください。

エアエクササイズ

水と空気を入れた器具を使ったエクササイズです。

9月7日～10月26日の毎週水曜（全8回）10時～11時、スポーツセンター、16歳以上の方8名（抽選）、指導＝佐野静香さん（ミズノグループ専属インストラクター）、参加費＝区内在住者3,500円（すぽすた会員2,500円）／その他の方4,000円（すぽすた会員3,000円）、8月25日㈭（必着）までに往復ハガキ（1人1枚・4面参照）に性別を記入しスポーツセンター（〒101－0047内神田2－1－8☎3256－8444）へ。

区民スポーツ大会（ソフトボール）

千代田区体育指導員協議会の運営による、ソフトボール大会を開催します。

9月4日㈰9時～（雨天中止）、夢の島東少年野球場（江東区夢の島3）、区内在住の高校生以上で女性2名を含む男女混成の16チーム（申込順）、参加費＝1チーム2,700円（別途傷害保険料が1人50円かかります）、8月18日㈭（必着）までに所定の用紙（文化スポーツ課・スポーツセンター〈内神田2－1－8〉で配布）に必要事項を記入し郵送またはファクシミリで文化スポーツ課スポーツ振興係（〒102－8688九段南1－2－1☎5211－3627 FAX 3264－7989）へ。

千代田図書館の催し

■特別展「内田嘉吉文庫 新たなる船出～千代田図書館から日比谷図書文化館へ～」

千代田図書館が所蔵する内田嘉吉文庫が、10月から日比谷図書文化館に移管されます。それに伴い、千代田図書館での最後の展示会を開催します。内田嘉吉文庫には、中世末から16世紀の西洋の冒険書や旅行記、16世紀から18世紀にかけて来日した西洋人たちの著作物、日本政府の刊行物、ナポレオンなどの著名な人物の伝記など、興味深い資料が数多くあります。

その中から代表的な書物約100点を、2日間のみ展示します。一部の資料は、実際に手にとることができます。

8月26日㈯12時～16時30分・8月27日㈰10時～15時

▲『A diplomat in Japan』アーネスト・サトウ著（1921年）

■特別展関連イベント　講演会「内田嘉吉文庫の魅力とこれから」

①8月26日㈯14時～15時30分②8月27日㈰13時～14時30分（①②とも同じ内容です）、定員50名（先着順）、講師＝菅谷彰（千代田区立図書館ゼネラルマネージャー）ほか

ーいずれもー

会場　区民ホール（区役所1階）

問合せ　千代田図書館 ☎5211－4289

■千代田Web図書館セミナー「出版社が考える『電子書籍』の今後」

千代田Web図書館は、インターネットにつながっているパソコン環境があれば、いつでもどこからでもデジタル化された資料（電子書籍）を利用できるサービスです。今回は、千代田Web図書館に電子書籍を提供しているPHP研究所の講師を招き、電子書籍とは何かから、今後、日本市場で電子書籍はどのように拡大発展していくのかまでを、わかりやすく解説します。

※千代田Web図書館は、区内在住・在勤・在学者対象のサービスですが、一部資料はどなたでも利用可能です。

8月30日㈬15時～16時、千代田図書館特設イベントスペース（区役所9階）、電子書籍に興味がある方30名（申込順）、講師＝中村由紀人さん（PHP研究所事業開発本部長）、電話または直接千代田図書館カウンター（区役所10階 ☎5211－4289〈月～金曜9時～17時・祝日除く〉）へ。

■企画展示関連イベント「まち歩き＆水上バスで楽しむ東京スカイツリー®～陣内先生が古地図でガイド～」

千代田図書館で開催中の展示「メイキング・オブ・東京スカイツリー展 at 千代田図書館」（9月24日㈯まで）の関連イベントです。都市計画と町の歴史の専門家・陣内秀信さんを案内役に、スカイツリーをテーマにしたまち歩きをします。古地図を片手に浅草を散歩した後、講師のクロストークを聞きながら、貸切水上バスで隅田川を下ります。青海客船ターミナルで解散後は、日本科学未来館で開催中の企画展「メイキング･オブ･東京スカイツリー」を見に行くのに便利です。

8月31日㈬9時～12時、講師＝陣内秀信さん（法政大学デザイン工学部教授）／天野春樹さん（日本科学未来館科学コミュニケーター）、小学4年生以上35名（申込順・小学生は保護者同伴）、参加費＝1,500円（水上バス代金）、8月8日㈪9時から電話または直接千代田図書館カウンター（区役所10階 ☎5211－4289〈月～金曜9時～17時・祝日除く〉）へ。

※日本科学未来館の入館には、別途料金が必要です。

※詳しい内容は、参加が決定した方にお知らせします。

ハゼ釣り大会

9月11日㈰5時40分区役所旧庁舎前／6時10分JR秋葉原駅電気街口広場（切符売場側）集合・出発（雨天決行）、木更津市潮見運河～富津市新富水路周辺、区内在住・在勤・在学者90名（申込順）、参加費＝3,500円（バス代・賞品代等）、8月26日㈮までに電話で千代田区釣友連盟・持斉（☎3888－5001）へ。

※弁当、エサは各自持参してください。

千代田区学習グループ連絡会日帰り研修会

「未来を創る今の生き方」をテーマに、日野市内の通所施設を見学し、生き生きと暮らしていくことを考え、学習をします。

9月17日㈯区役所前8時45分集合・17時解散、友遊ケアセンター（日野市西平山〈研修会場〉）、区内で学習活動をしている人等40名（申込順）、参加費＝5,000円（交通費・食事代・保険代）、持ち物＝身分証明書（保険証等）・筆記用具、電話またはファクシミリ（4面参照）で千代田区学習グループ連絡会・西川（☎3866－0507 FAX 3864－9266）へ。

※9月10日㈯以降のキャンセルは、返金できません。

区民自主企画運営講座「電動ろくろ入門～器をつくる～」

「電動ろくろ」を初めて使用する方を対象に、各工程を学びながら器を作ります。最終回は、仕上げをし、鑑賞やお菓子を盛って楽しみます。

とき　9月27日、10月4日・18日・25日、11月22日いずれも火曜（全5回）、午前グループ10時～12時30分・午後グループ13時30分～16時

※11月22日（最終回）は両グループとも13時30分～16時

会場　九段生涯学習館（九段南1－5－10）

講師　井口峰幸さん（国画会工芸部会友）

対象　区内在住･在勤･在学者各グループ12名（抽選）

参加費　6,500円（材料費を含む）

申込み　9月2日㈮17時までに電話またはホームページで九段生涯学習館（☎3234－2841 URL http://www.kudan-ll〈エルエル〉.info）へ。

▲参考作品

※必ず希望のグループをお伝えください。

※午後グループのみ託児サービス（1歳～未就学児・2週間前までに要予約〈有料〉）あり。

嬬恋村で農業体験をしてみませんか

千代田区と姉妹都市提携を結んでいる群馬県嬬恋村で、農業体験（野菜の収穫）や郷土料理講習会を通じて、地元の皆さんと交流します。豊かな自然の中で普段味わえない体験をしてみませんか。

とき　9月17日㈯～18日㈰（1泊2日）

内容　17日＝7時30分区役所前集合、バスで嬬恋村へ。到着後に農業体験

18日＝嬬恋村郷土料理講習会、18時ごろ区役所着

対象　小学生以上の区内在住･在勤･在学者で、2名以上5名以下のグループ30名（抽選）

宿泊　嬬恋自然休養村（群馬県嬬恋村大字干俣2401）

※相部屋になる場合があります。

参加費　大人9,000円、小人（小学生）5,000円

申込み　8月19日㈮（必着）までにハガキ・ファクシミリまたはEメール(4面参照)に参加者全員の性別・靴サイズを記入し、コミュニティ担当課（〒102－8688九段南1－2－1☎5211－4180 FAX 3264－7989 komi@city.chiyoda.lg.jp）へ。

※多くの方に参加してもらいたいため、初めての方を優先させていただきます。

☆東日本大震災の影響により、電力が不足する恐れがありますので、節電にご協力ください☆